

町制施行70周年記念

知名町特産品フェアを開催

「ちな町を愛するすべての人々へ南国の春をひとあし早くお届けします」をキャッチフレーズに、2月22日、23日に鹿児島県市町村自治会館において「知名町特産品フェア」を開催しました。

この特産品フェアは、今年で10回目となった県町村会が主催するふるさと市場(2月16日〜3月15日)に合わせで開催したものです。特産品フェアに先立ち、おきのえらぶ島観光大使とともに県知事、県議会議長、南日本新聞



社などを訪問し、特産品フェアの告知や観光PRを行いました。

会場では、生きくらげやきび酢、黒糖焼酎、ソデイカといった島ならではの特産品のほか、今年の県フラワーコンテストで農林水産大臣賞を受賞した「えらぶゆり」や新バレイショなどの農産物、芭蕉布製品、シマ桑茶など20業者から100種あまりの商品を展示販売しました。会場には例年以上に多くの人が訪れ、初日で売り切れる商品もあり大盛況となりました。

また、会場の一角に観光ブースを設置し、シマ桑青汁の試飲や知名町のPR動画の放映を行ったほか、人型ロボット「ペッパー」とちなボーがコラボし、知名町の魅力を



紹介しました。会場には、新聞社やテレビ局なども取材に訪れ、大盛況となった会場の様子や知名町の魅力を発信していただきました。

恒例となったこのイベントは、知名町の特産品を販売することで、多くの方に知名町を知っていただくほか、出身者が島の味を買い求めながら懐かしい人たちと出会う場にもなっています。来年は今年以上に多くの皆様に満足していただけるイベントにしていきたいので、皆さまもぜひ足を運んで、フェアを盛り上げていただければと思います。



所長 元栄 吉治

『しんせかい』

山下 澄人／著 新潮社

19歳の山下スミトは演劇塾で学ぶため北を目指す。辿り着いた先の「谷」では、俳優や脚本家志望の若者たちが自給自足の共同生活を営んでいた…。文学界の異端者が自らの原点を描き出す。『新潮』掲載を単行本化。第156回芥川賞受賞作。



話題の本、入荷しました!



『蜜蜂と遠雷』

恩田 陸／著 幻冬舎

養蜂家の父とともに各地を転々とし自宅にピアノを持たない少年、かつての天才少女、サラリーマン…。ピアノコンクールを舞台に、人間の才能と運命、音楽を描いた青春群像小説。

『星星峡』『ボンツーン』連載を単行本化。第156回直木賞受賞作。

問 町立図書館 電話(93)4356



<https://www2.china-lib.jp/WebOpac/spopac/index.do>